



2018年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月12日

上場会社名 株式会社キャンドウ 上場取引所 東
 コード番号 2698 URL <http://www.cando-web.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）城戸 一弥
 問合せ先責任者（役職名）取締役 管理担当・人事担当（氏名）森田 徹 TEL 03-5331-5124
 四半期報告書提出予定日 2018年10月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有・無
 四半期決算説明会開催の有無：有・無

（百万円未満切捨て）

1. 2018年11月期第3四半期の連結業績（2017年12月1日～2018年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年11月期第3四半期	52,943	2.5	1,499	△6.7	1,599	△9.2	843	△5.4
2017年11月期第3四半期	51,630	0.7	1,607	△10.4	1,760	△5.2	890	6.0

（注）包括利益 2018年11月期第3四半期 906百万円（△6.2％） 2017年11月期第3四半期 966百万円（25.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年11月期第3四半期	52.98	52.85
2017年11月期第3四半期	55.99	55.90

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2018年11月期第3四半期	25,480		12,423		48.6	
2017年11月期	24,540		11,809		48.0	

（参考）自己資本 2018年11月期第3四半期 12,373百万円 2017年11月期 11,784百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年11月期	-	8.50	-	8.50	17.00
2018年11月期	-	8.50	-		
2018年11月期（予想）				8.50	17.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有・無

3. 2018年11月期の連結業績予想（2017年12月1日～2018年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,800	2.9	1,870	△9.8	2,000	△12.0	832	△17.6	52.28

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有・無

連結業績予想の修正については、本日（2018年10月12日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・ 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有・ 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有・ 無
② ①以外の会計方針の変更： 有・ 無
③ 会計上の見積りの変更： 有・ 無
④ 修正再表示： 有・ 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年11月期3Q	16,770,200株	2017年11月期	16,770,200株
② 期末自己株式数	2018年11月期3Q	857,300株	2017年11月期	857,300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年11月期3Q	15,912,900株	2017年11月期3Q	15,912,900株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示変更について)

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位に変更しております。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に組み替えて表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2017年12月1日から2018年8月31日）におけるわが国経済は、企業の設備投資の増加、雇用情勢の改善を背景に、個人消費が低調ながら持ち直しの動きを見せ、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。

小売業界におきましては、企業間の競争激化、人手不足による人件費・物流コストの上昇等、6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨などの天候要因もあり、市場環境は厳しさを増してまいりました。

こうした経営環境のなか、当社グループは、2018年11月期からの3ヶ年について新たに定めた中期計画『Next3』を推進しております。当第3四半期連結累計期間におきましては、他社との差別化への取り組みを今まで以上に追求すべく、「選ばれる独自性の確立」を全社方針として掲げ、店舗開発、商品、販売の全般にわたる計画の実行と企業文化の変革に取り組んでまいりました。

店舗開発戦略では、店舗純増による収益拡大を図り、出店の機会損失削減のために、直営店、F C店、卸取引、海外の多様な案件情報の一元管理を推進し、個別案件毎の最適な取引形態の判断と提案に努めてまいりました。また、ストアデザインと施工の改良による出店投資の単価低減に継続して取り組み、生産性の向上を図ってまいりました。

商品戦略では、中期計画の全社方針「選ばれる独自性の確立」の核となるべく、商品のオリジナリティの更なる追求を推進してまいりました。SNSを通じた情報発信や情報分析を元にした話題商品の発掘や、著名キャラクターや有名ブロガーとのコラボレーション企画を行うなど、当社の強みを生かした施策や、当社プライベートブランドである「D o ! S T A R S」商品の開発を継続して実施してまいりました。また、物流や環境問題を中心としたコスト上昇に対応するため、お取引先様との連携により商品のクオリティを維持した商品開発に努めてまいりました。

販売戦略では、店舗における4S（整理・整頓・清掃・清潔）、在庫管理の徹底によるムダ取り、商品発注から受け入れ、陳列にいたるまでの店舗内物流構築などのインフラ整備を継続して実施し、生産性の向上を図りました。また、店舗でのムリ、ムダ、ムラを省き、お客様目線での売場作りの質の向上を図ってまいりました。当社独自キャラクター「はっ犬ワンドウ」の店舗への登場、参加型のイベントとして「ワークショップ」の開催、接客教育の見直しなど、ソフト面の充実を継続し、当社既存店舗の魅力を引き出すための施策を行ってまいりました。更に、店舗の戦略的リニューアル、本社主導での商品発注支援や、SNSと連動した陳列など、商品戦略との連動を意識した施策により購買力向上に努めてまいりました。

組織面では、各業務執行取締役による管掌部門内統制により、全社方針に向かって各部門が業務を効率的に進める体制の充実を継続して図ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高529億43百万円（前年同期比102.5%）となりました。

営業利益は14億99百万円（前年同期比93.3%）、経常利益15億99百万円（前年同期比90.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億43百万円（前年同期比94.6%）となりました。

新規出店実績は44店舗（直営店36店舗、F C店7店舗、海外F C店1店舗）となり、当第3四半期連結会計期間末における店舗数は1,003店舗（直営店697店舗、F C店295店舗、海外F C店11店舗）となりました。

各事業の業績は、直営店売上高469億61百万円（構成比率88.7%、前年同期比103.0%）、F C店への卸売上高53億58百万円（構成比率10.1%、前年同期比97.2%）、その他売上高6億23百万円（構成比率1.2%、前年同期比114.7%）となりました。

なお、セグメントの実績については、当社グループは単一セグメントのため記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産合計は254億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億40百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、「現金及び預金」が5億98百万円、「有形固定資産」が1億94百万円増加したこと等が挙げられます。

負債合計は130億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億25百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、「電子記録債務」が3億46百万円増加したこと等が挙げられます。

純資産合計は124億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億14百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、「利益剰余金」が5億25百万円増加したこと等が挙げられます。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年11月期の業績予想につきましては、2018年1月15日に公表いたしました数値から変更しております。

詳細につきましては、本日（2018年10月12日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,354	3,952
売掛金	482	505
商品	5,589	5,575
未収入金	1,714	1,744
その他	790	774
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	11,914	12,535
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,210	4,485
その他(純額)	1,425	1,345
有形固定資産合計	5,636	5,831
無形固定資産		
	689	665
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,046	5,156
その他	1,294	1,332
貸倒引当金	△14	△14
投資損失引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	6,300	6,448
固定資産合計	12,625	12,945
資産合計	24,540	25,480
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,750	3,706
電子記録債務	3,793	4,140
未払法人税等	460	326
賞与引当金	—	102
資産除去債務	14	17
その他	1,514	1,515
流動負債合計	9,533	9,807
固定負債		
退職給付に係る負債	1,418	1,489
資産除去債務	1,053	1,087
負ののれん	361	333
その他	364	338
固定負債合計	3,198	3,249
負債合計	12,731	13,057

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,028	3,028
資本剰余金	3,065	3,065
利益剰余金	6,999	7,524
自己株式	△1,228	△1,228
株主資本合計	11,865	12,390
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△34	△17
為替換算調整勘定	△49	—
退職給付に係る調整累計額	3	0
その他の包括利益累計額合計	△80	△17
新株予約権	24	50
純資産合計	11,809	12,423
負債純資産合計	24,540	25,480

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年12月1日 至 2017年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年8月31日)
売上高	51,630	52,943
売上原価	31,773	32,488
売上総利益	19,857	20,455
販売費及び一般管理費	18,250	18,955
営業利益	1,607	1,499
営業外収益		
受取事務手数料	72	25
負ののれん償却額	28	28
投資有価証券売却益	31	—
その他	31	56
営業外収益合計	164	110
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	4	1
雑損失	3	5
その他	2	3
営業外費用合計	11	11
経常利益	1,760	1,599
特別利益		
受取補償金	44	60
特別利益合計	44	60
特別損失		
固定資産除却損	139	80
減損損失	174	117
その他	—	5
特別損失合計	314	204
税金等調整前四半期純利益	1,490	1,455
法人税等	599	612
四半期純利益	890	843
親会社株主に帰属する四半期純利益	890	843

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年12月1日 至 2017年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年8月31日)
四半期純利益	890	843
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	—
繰延ヘッジ損益	72	16
為替換算調整勘定	1	49
退職給付に係る調整額	6	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	6	—
その他の包括利益合計	75	63
四半期包括利益	966	906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	966	906
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、日用雑貨及び加工食品の小売店舗チェーン展開を主たる目的とした単一事業であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。